

議案質疑

今定例会に提出された議案に対する質疑は、5人の議員が質疑をしました。

その主なものは次のとおりです。

議案第114号

問 資産の取得について

【三浦議員】

7億円をかける医療情報システムの内容を伺いたい。

【中核病院整備部長】

2次医療の完結を目指す県西部メディカルセンターは、周辺医療機関との連携が不可欠であり、開院に合わせて茨城県医師会が運営する「いばらき安心ネット」への加入を指している。また「地域連携室システム」は、紹介状の作成、患者さんの管理、統計機能など業務を効率的に進める院内業務支援システムである。

【三浦議員】

医療機関によっては、システム費用の問題から導入できない

い所もある。医療機関で情報がやり取りできる電子カルテの普及には時間がかかると理解してよいか。

【中核病院整備部長】

まずはいばらき安心ネットに加入している医療機関同士で行っていく。

【三浦議員】

いばらき安心ネットには、どの程度加盟しているのか。

【中核病院整備部長】

県内では45医療機関が加盟している。県西地域では、筑波メディカルセンター病院、きぬ医師会病院、古河赤十字病院、友愛記念病院などのほか、4診療所が加盟している。

【三浦議員】

システムのメンテナンス経費について聞きたい。

【中核病院整備部長】

メンテナンスの範囲はこれか

ら決定してまいりたい。

【三浦議員】

病院を運営する独立行政法人ができれば、法人がメンテナンスの契約をすることになると思うが、契約の見通しは。

【中核病院整備部長】

システム構築に約半年かかる。その後の契約なので、平成30年度になる。メンテナンスの金額は2,500万円から4,000万円程度と想定している。

議案第95号

問 体育施設を指定管理にするメリット

【小島信一議員】

指定管理料は、どのように見込んだのか。

【教育部長】

積算した体育施設の維持管理経費4億5,000万円を公表し、提案を受け、人件費を合わせた、7億4,000万円を見込み額とした。

【小島信一議員】

一次審査通過者は3社あったというが、提示価格は。

【教育部長】

提示価格は、他の指定管理の公募に支障があるので差し控えた。

【小島信一議員】

指定管理にするメリットは。

【教育部長】

今回、6億9,386万円を上限額として仮協定を結んだ。市が体育施設を管理するよりも、5年間で約5,000万円削減できる。

【小島信一議員】

他に期待できるメリットは。

【教育部長】

体育備品の充実、スポーツ大会、指導者による教室の開催など豊富な経験と人材を活用した事業が提案されており、スポーツ振興と市民サービスの向上が期待できる。

【小島信一議員】

この検証は、どう行うのか。

【教育部長】

毎月の管理運営状況を確認し、毎年度、協定に従い検証を行う。より良い市民サービスの向上に向けて指定管理者と連携を取り、進めたい。

議案第104号
地域医療寄附講座
寄附金について

【鈴木聡議員】

県西部メディカルセンターにおける医師確保の現状は。

【中核病院整備部長】

内科については、開院までに臓器別に複数の医師の配置は難しいが、現時点で約15名は確保できている。

【鈴木聡議員】

平成30年度からの寄附講座寄附金は、筑波大学が5年で3億5,340万円、自治医科大学が3年で約1億2,660万円計上されている。年限の違いと医師数の予定は。

【保健福祉部長】

年限は両大学の制度の違いによるもの。医師数は筑波大学から5人、自治医科大学から3人の招へいに必要な経費の限度額を計上した。今後、両大学において希望者の募集が始まるもので、医師数は決まったものではない。

【鈴木聡議員】

残りの医師確保については。

【中核病院整備部長】

水谷、梶井両医療監が引き続き関係機関、関係大学に出向き、招へいを行っている。

【鈴木聡議員】

寄附講座と教育センターの関係、役割は。

【中核病院整備部長】

両大学の寄附講座、共同の教育センターの設置による連携でメディカルセンターへの医師招へいが図られ、さらには若手研修医の招へい、育成につながるものと考える。

※寄附講座：大病院または大学に寄附することにより、診療・教育・研究のための医師が派遣される。



議案第116号、117号

問 **財産と資産の違いとは**

【仁平正巳議員】

議案第116号「財産の取

得」と議案第117号「資産

の取得」について、なぜ消防車が『財産』で、医療機器が『資産』なのか。調べたところでは財産も資産も同じ意味だが、この違いは何か。

【総務部長】

両議案の違いは、地方自治法の規定に基づいた場合『財産』、地方公営企業法に基づいた場合『資産』と表現をしている。

議案第116号

問 **消防ポンプ車装備品決定のプロセス**

【森正雄議員】

2つの分団の消防ポンプ車を更新するものだが、装備品等仕様概要を決めるに当たってのプロセスは。

【市民環境部長】

仕様については、更新をする第6分団及び第23分団から性能及び装備品についての要望を聴取し、予算等も踏まえて決定した。

第2回臨時会

平成29年第2回臨時会が10月16日に開かれました。

衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査における市長の専決処分に係る報告、道の駅整備用地取得、茨城県西部メディカルセンター医療機器購入の議案が提出されました。

議案は本会議で慎重に審議され、全会一致で可決しました。

第3回臨時会

平成29年第3回臨時会が11月16日に開かれました。

茨城県西部メディカルセンター厨房機器購入、茨城県西部メディカルセンターに係る市道路線の認定及び廃止の議案が提出されました。

議案は本会議で慎重に審議され、全会一致で可決しました。